

会 議 要 旨

(1 / 3)

会議の名称	第3回川越市国際化基本計画審議会
開催日時	令和7年10月27日（月） 午後2時00分 開会 ・ 午後2時40分 閉会
開催場所	川越市役所 4A会議室
議長（委員長・会長）氏名	会長 助川泰彦
出席者（委員）氏名 （人数）	藤長晴栄、焦雁、本多英視、李秀娥、田口裕子 （5人）
欠席者（委員）氏名 （人数）	宮坂雄悟、伊藤康子、齊藤英一郎、（3人）
事務局職員職氏名	文化スポーツ部長 奥富和也、国際文化交流課長 福田純子 副課長 都所聡子、副課長 島居恭子、主任 泉名元樹
会議次第	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (1) 川越市国際化基本計画原案について 4 その他 5 閉会
配布資料	第六次川越市国際化基本計画原案

議 事 の 経 過

1 開会

2 会長挨拶

外国人との秩序ある共生社会推進担当大臣に小野田紀美氏が就任した。日本の人口は 50 年後には 8000 万人代まで減少すると予想されており、外国籍市民との共生は必須である。川越市は早い時期から計画を策定し、多文化共生に取り組んでいる。次期計画の策定のため、本日も活発な議論をお願いしたい。

3 議事

(1) 川越市国際化基本計画原案について

事務局から、資料に基づいて説明があった。主な意見および質疑は次のとおりである。

- 23 ページの計画の体系において、基本目標 3 の施策目標が現計画では多くの項目があったが、「意識啓発・人材育成」にまとめられている理由は何か。

⇒施策の数が少なく、いずれも意識啓発・人材育成に係るものであるため、ひとつにまとめた。

- 意識啓発には、外国人が日本人に自分の国の文化を教えるのと、日本人に普段から多文化共生意識を持ってもらうのと、2 つの方向性があると思うが、どちらか。

⇒両方である。

- 日本人と留学生の交流機会があるとよい。計画に留学生に関する施策はあるか。

⇒留学生に限定したものではないが、基本目標 2 の (2) 多文化共生の場づくりに日本人と外国籍市民の相互交流に関する施策がある。

- 留学生にも国際交流センターの日本語教室に来てほしいので、大学に依頼する際に市が協力してほしい。

- 33 ページの計画の指標の設定に関して、基本目標 1 の目標値の達成見込みについてどう考えるか。

⇒外国籍市民が増えるので参加者数も増えると思われるが、収容人数等も考えると国際交流センターだけでは限界がある。

議 事 の 経 過

●国際交流センターの日本語教室に来ている外国籍市民は意識が高いが、公共の場に出てくることが難しい人にもチャンスが行き渡るようにしてほしい。外国籍市民が自然にまちを歩いているようになるよう、目標は高く持って取り組んでほしい。

●「Beyond GDP」の注釈があった方が良い。

⇒注釈を掲載するようにしたい。

4 その他

事務局から、12月頃に意見公募（パブリックコメント）を実施し、第4回川越市国際化基本計画審議会は令和8年2月頃に開催し、最終案の確認と答申について協議予定である旨の連絡があった。

●パブリックコメントについては市の広報に掲載するか。

⇒12月1日号に掲載する予定である。

●パブリックコメントは外国籍市民も提出できるか。

⇒外国籍市民も提出できる。

●パブリックコメントについて日本語教室でも周知してほしい。

⇒日本語教室でも周知したい。

●昨年度に実施した児童生徒の保護者の意識調査は計画とは関係ないか。

⇒計画に直接的な表記はしていないが、調査結果を踏まえて策定している。

●意識調査で、自分の子どもが授業の内容を分かっていると答えた保護者が7割以上もいたのが意外だった。

●外国籍児童がもっと放課後こども教室に参加できるようにしてほしい。

⇒教育委員会とも連携して取り組んでいきたい。

●外国籍児童を別の教室で勉強させるのではなく、日本語が分からなくても日本人と一緒に授業を受けさせるようにし、分からないところは放課後に教えてあげるのが良い。

5 閉会